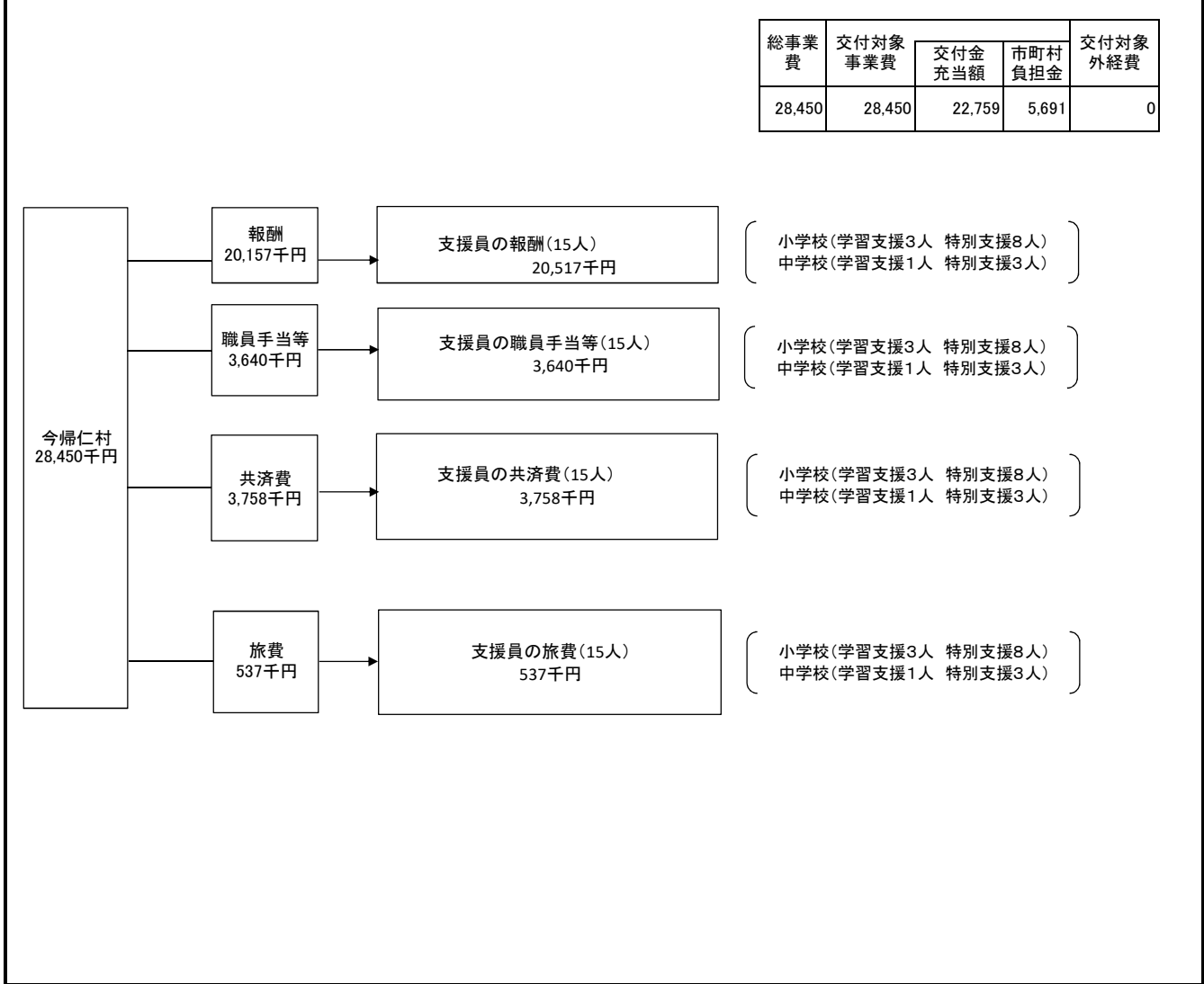


市町村名	今帰仁村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	教育環境充実事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア		
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒に対し、個々に応じたきめ細かなサポートを行うため、小中学校にそれぞれ学習支援員と特別支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		23,655	19,625	24,519	23,994	26,227
			14,138	18,265	19,186	23,949	29,662
			▲ 9,517	▲ 1,360	▲ 5,333	▲ 45	3,435
			14,138	18,265	19,186	23,949	29,662
	B. 執行済額 うち交付金充当額		14,138	18,265	19,186	23,949	28,443
			11,311	14,612	15,349	19,159	22,754
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.9%
	予算の状況の説明	計画に沿って事業を実施できたので適正であった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	支援員(預かり含む)の配置人数 ・小学校(学)3人 (特)8人 ・中学校(学)1人 (特)3人		目標 幼 (特)1人 (小)3人(特)4人 中(学)1人(特)1人	幼 (特)2人 (小)3人(特)5人 中(学)1人(特)1人	(小)3人(特)6人 中(学)1人(特)3人	(小)3人(特)8人 中(学)1人(特)3人	
			実績 幼 (特)2人 (小)3人(特)5人 中(学)1人(特)1人	幼 (特)1人 (小)3人(特)5人 中(学)1人(特)2人	(小)3人(特)6人 中(学)1人(特)3人	(小)3人(特)8人 中(学)1人(特)3人	
			目標 ()	()	()	()	
達成状況説明 ・学習支援員は、目標どおり配置した。 ・特別支援員は、目標どおり配置した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・沖縄県学力到達度調査における、県と本村との平均回答率の差 ①小学生 0.8ポイント以上 ②中学生 -10.1ポイント以上		目標 ()	(①-0.8P以上) (②-7.1P以上)	(①0P以上) (②-9.1P以上)	(①0.8P以上) (②-10.1P以上)	()
			実績 ①-0.9P ②-6.5P	①+0.4P ②-8.5P	①-1.7P ②-0.9P		
	対象となる児童生徒が学校生活や学習上の困難の改善を図ることができたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績 100%	100%	100%		
進捗状況説明 ・沖縄県学力到達度調査において、県と本村の3か年平均の差は、成果目標において小学生においては、1.7P下回り、中学生においては目標値よりは良い結果となった。 ・アンケート結果について、学習支援員や特別支援員の配置により学校生活や学習上の困難の改善を図ることができ、落ち着いた学校生活を送れたとの回答が100%となり、目標を達成できた。							

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援員は、各学校に1名配置が実施でき、学習支援の必要なクラスへサポートが行えた。特別支援員は、全体支援を強化するために人員確保が必要である。 対象児童生徒の数は増加しており、きめ細かい対応まで至っていない部分も見受けられる。 支援員の経験等により児童とのかかわり方や支援方法にばらつきがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別の学習指導については、各校の児童生徒により必要な指導方法が異なるため、各校の状況に合わせた支援を継続し実施していく。 支援員の人員の確保に努め、昨年度と同人数は配置することができたが対象児童数は増加しており多岐に及ぶ事から増員を検討する。 定期的に連絡会及び研修会を行い、状況が改善した学校における取組を紹介するなどして、情報交換を行い、支援者のスキル向上や各校の取組の標準化を図る必要がある。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 学習支援、特別支援をバランスよく進めるため、教師と支援員の連携を密に行う。 全体支援と個別支援をよりよく行こなえるよう連絡会・研修会を行い情報交換し、状況を把握する。 人員の増員も含め、支援の必要なところには適切に配置、サポートする。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



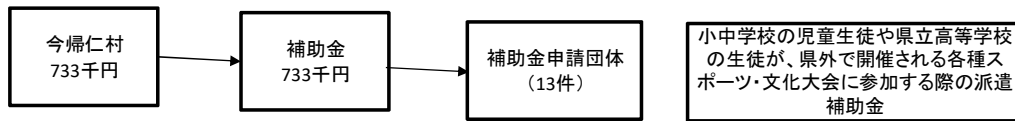
資金の 流れ・ 費目 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○特別支援員については、ハローワークにて公募し面接決定している。学習支援においては、「教員免許の所持」を条件として定めており、適切かつ妥当な選定である。 ○予算規模については、目標は達成でき、学校からの追加要望に対して人員の確保ができた。 ○費用・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	児童生徒等の県外派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-5-(2)-ア	
担当部署名	教育委員会 社会教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
事業内容	小、中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加する為の県外派遣費を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			1,000	967	1,330	350	750
			0	▲ 33	330	▲ 650	▲ 250
			1,000	967	1,330	350	750
	B. 執行済額 うち交付金充当額		894	967	1330	398	733
			715	774	1064	318	586
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	89.4%	100.0%	100.0%	113.7%	97.7%
		予算の状況の説明	新型コロナウイルスの影響により各大会の中止、延期があったため予算を減額した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	小、中学校の児童生徒並びに今帰仁村に所在する県立高等学校の生徒が、各種スポーツ大会や文化関係大会に参加する為の県外派遣費を支援する。	目標	(派遣費を補助)	(派遣費を補助)	(派遣費を補助)	(派遣費を補助)	
		実績	70名/18件	135名/17件	46名/6件	86名/13件	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	R3年度はスポーツ関連12件(84名)、文化関連1件(2名)の派遣実績となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	県外の児童生徒との競争や交流を通じて、児童生徒の視野が広がったか(目標80%以上)を含め、本事業を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		85%	97%	97.70%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	保護者へのアンケートの結果、「県外の人との競争や交流を通じて児童生徒の視野が広がった」との回答が80%を超え目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から、一定以上の成果は出ているものと考えられる。 例年、スポーツ競技への派遣は多いが文化関連の派遣は少ない。 R3年度、事後申請のため本事業対象外となった方がいた。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケートでの満足度は高く、今後も同内容で継続したい。 文化系の大会も派遣対象であることを広く周知し、事業活用を促す。 これまで広報誌や教頭会などで周知を図っているが、チラシ作成などより分かりやすい形での情報提供を検討する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果から、事業利用者の満足度は高いため、今後も継続して実施する。 チラシなどで事業について分かりやすく周知し、広報誌や各学校を通じて対象となる方に適切に情報提供が行えるようにする。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
1,531	733	586	147	798

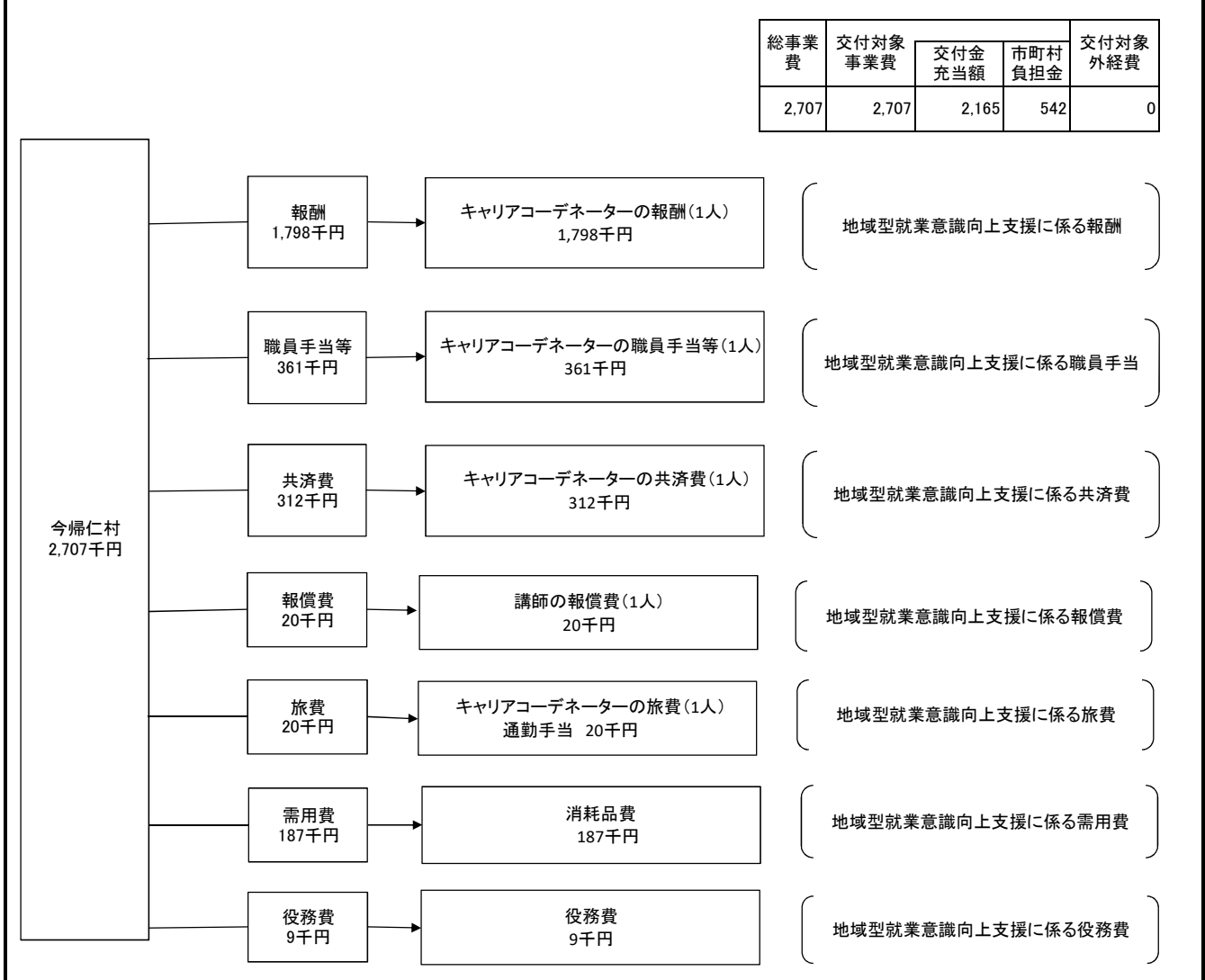


資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・各団体の申請に基づき審査を行ない、選定を行なっている ので妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・不用はあったが適正範囲内であり、予算規模は適当である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・補助金要綱に基づき航空運賃の補助(補助率1/2)を行 なっており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費用、使途についてはその大会実績による派遣費補助の 観点から必要なもので有り適正である。

市町村名	今帰仁村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	地域型就業意識向上支援事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-イ			
担当部署名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	令和2~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	若年者の雇用推進		
事業内容	農業が基幹産業の本村にとって高校卒業を機に村外へ出る生徒が少なくない。地域の良さを再認識・再発見し新しい時代・環境に適応できる人材を育成する為、各校の授業カリキュラムと関係団体や地域人材と連携を行い、もって将来地域貢献・社会貢献できる人材の育成に努める。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額				4,233	4,063
		(b) 予算現額				2,363	2,778
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	▲ 1,870	▲ 1,285
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	0	0	0	2,363	2,778	
	B. 執行済額				2,363	2,707	
	うち交付金充当額				1,890	2,165	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)				100.0%	97.4%	
予算の状況の説明	教育ファーム事業、プロデューサー育成事業、県外インターンシップ事業については、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて感染拡大防止の観点から中止としたため、当初予算から1,648千円の減額が生じたがキャリア教育コーディネーター事業については計画どおりに執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	キャリア教育コーディネーター	目標	()	()	(1,800名)	(1,800名)	
		実績			3,368名	3,714名	
	キャリア教育に係わる講演会	目標	()	()	(2回)	(2回)	
		実績			0回	4回	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育コーディネーターの配置は、目標どおり配置した。 ・講演会は、新型コロナウイルスに於ける状況を鑑みながらの感染防止対策を含めた安全対策の強化を図り行うことができた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	就業に対する意識が向上したか(80%以上)を含め、各プログラムに参加した児童生徒に対するアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			100%	98%	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムに参加した小学校のアンケート結果について、就業に対する意識が向上したとの回答が98%となり、目標を達成できた。 					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 県外インターシップ等の開催を始めとして、新型コロナウイルスの影響を受けて予定していた事業を行うことができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心安全に事業を行うため新型コロナウイルス等の感染防止対策を含めた安全対策の強化を図る。 マスクの着用・手洗い・うがいを徹底する。 課外授業時バスの乗降の際消毒の徹底。車内の窓を開放し換気を行う。 施設内に入るときは小人数のグループに分け密を避ける。 講演会を開催するにあたり人数の制限をしたり対象者を限定したり回数を増やす。 講習や交流会・講演会などにおいてWebの利用を検討する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 各校の児童生徒学年により必要な指導方法が違うため、各校の状況に合わせた取組のサポートを継続し実施していく。 児童生徒の就業における意識の向上やスキルの向上に取り組み、新しい環境で適応できる人材を育成するため、実施予定事業の精査を行う。 3密を避けるなどの基本的感染対策・安全対策や新たな生活様式を取り入れながら事業を推進していきたい。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

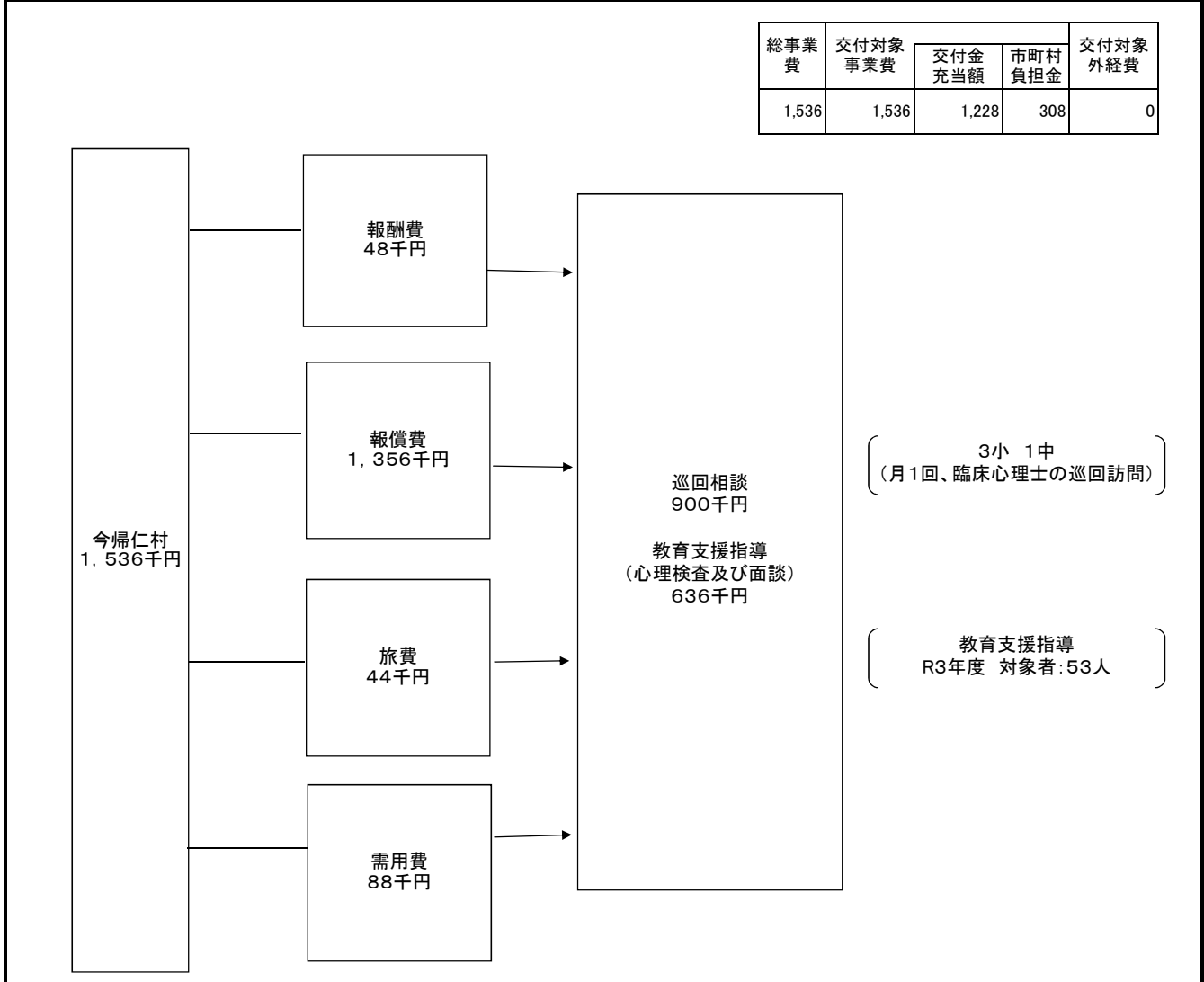


資金の 使途の 流れ、 点検 評価 ・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○見積価格などを踏まえ支出先を選定しているため妥当である
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業に必要なものに限定しているので適正な規模である
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥		教育支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-5-(3)-ア	
	学校教育課		事業実施(予定)年度	令和2~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進	
担当部署名						Ⅲ-3-(1)	
事業内容	特別支援教育の充実を図るため、村内小中学校において臨床心理士による巡回相談の実施や教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施し、障害を有する児童生徒に対する支援の強化を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額				1,283	1,812
	(b) 予算現額				1,183	1,533	
	(c) 増減額(b-a)				▲ 100	▲ 279	
	(d) 繰越額				0	0	
	A. 計(b+d)				1,183	1,533	
	B. 執行済額				1,183	1,536	
	うち交付金充当額				946	1,228	
	次年度繰越額				0	0	
	執行率(%) (B/A)				100.0%	100.2%	
予算の状況の説明		当初見込み(1,812)より、執行済額▲276となったが、ほぼ計画とおりに進めた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	定期巡回学校訪問(3小学校 1中学校) 回数:原則1校あたり月1回(3h)年12回	目標	()	()	(小36回 中12回)	(小36回 中12回)	
		実績			小38回 中12回	小45回 中15回	
	教育指導検査 内容:対象となる児童生徒の心理検査及び面談。 回数:心理的検査46回、保護者面談44回	目標	()	()	(検査55回 面談30回)	(検査46回 面談44回)	
実績				検査42回 面談56回	検査46回 面談44回		
達成状況説明	臨床心理士及び教育指導検査員を派遣し、学校生活への不適応や対人関係で問題が生じている児童生徒に対して支援を行う。定期巡回相談は、臨床心理士が3小学校、1中学校に月1回学校訪問を行い特別な支援が必要な児童生徒へ面談を行う。教育指導検査は、対象となる児童生徒の心理的検査及び面談を行う。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	対象となった児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した割合(61%以上)を含め、養護教諭や特別支援員へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(61%)	(61%)	()
		実績			75%	91%	
	【参考指標】過去の実績参考に設定。直近3年分の平均値を上回ることを目標に61%以上と設定した。 H30:対象88人 改善55人 62.5% R 1:対象80人 改善43人 53.7% R 2:対象50人 改善32人 64.0% 平均60% R 3:対象53人 改善35人 66.0%	目標	()	()	(61%)	(61%)	()
		実績			64%	66%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 対象となった児童生徒のうち、問題の解消や症状が改善したと判断した割合の目標値は61%以上としたが、アンケート結果は91%が改善したとの回答であり目標値を上回った。 過去の実績を参考に直近3年分の平均値を上回ることを目標に61%以上としたが、実績では66%が改善したと回答があった。 						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	臨床心理士による巡回相談(月1回3時間)を実施することを目標とし、各学校から回数増の要望があった時には、日程調整を行い取り組めるよう改善する。	臨床心理士による巡回相談の回数の増については、専門的な立場の臨床心理士を確保する必要がある。
	教育支援指導員による対象児童生徒の心理検査を実施したが、指導員の確保が困難である。	特別支援教育の充実を図るため、教育支援指導員の確保に努めた。
今後の取り組み方針		
臨床心理士による巡回相談は月1回3時間を実施することを目標とするが、緊急時にも対応出来るよう臨床心理士の確保に努める。 教育支援指導員による心理検査の実施及び面談、就学先決定後のフィードバックの充実を図る。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

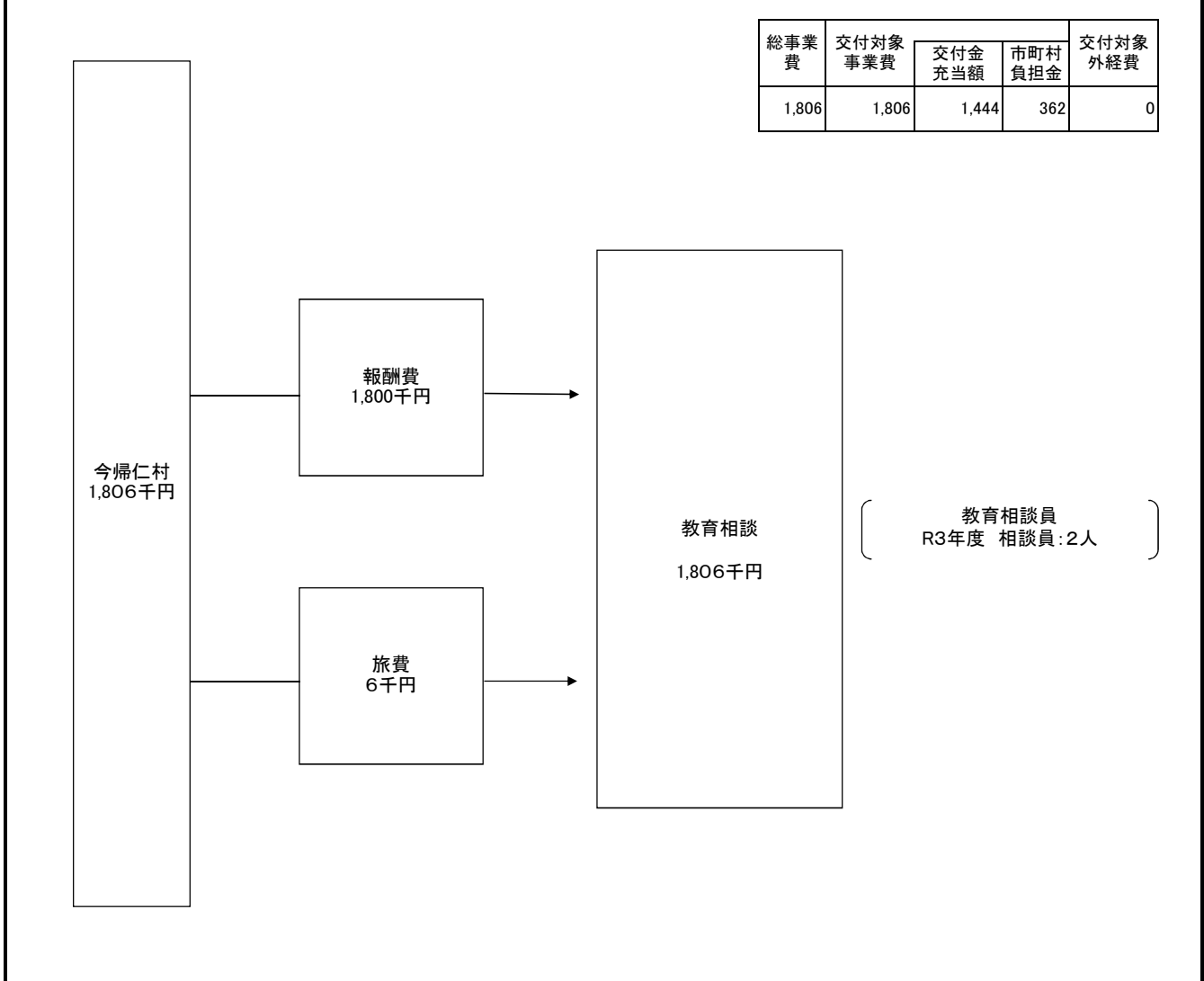


資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○専門職へ委嘱しているため、妥当であったと考えている。 ○不用額はなしであり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	今帰仁村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	教育相談事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-5-(3)-ア		
担当部署名	学校教育課	事業実施(予定)年度	令和2~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	村内各小中学校と連携し、今帰仁村教育委員会に相談室を設置し不登校の改善を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)					1,816	1,826
						1,815	1,826
						▲1	0
						0	0
	B. 執行済額 うち交付金充当額					1,815	1,806
						1,452	1,444
	次年度繰越額				0	0	
	執行率(%) (B/A)				100.0%	98.9%	
	予算の状況の説明	当初見込み(1,806)ほぼ計画どおりに進めた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	教育相談事業 今帰仁村教育委員会へ教育相談員を配置する。	目標	()	()	(2人)	(2人)	
		実績			2人	2人	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	今帰仁村教育委員会へ教育相談員を2人配置した。週3回の午前中勤務とし、毎日相談室に相談員を配置することが出来た。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	不登校児童生徒の復帰率:4.0%以上 保健室、図書館、教育相談室等へ登校し教室復帰できた割合:4.0%以上	目標	()	()	(4%)	(4%)	()
		実績			6%	6%	
	【参考指標】 過去の実績参考に設定。直近3年分の平均値を上回ることを目標に3.1%以上と設定した。 3年間の平均 3.1%	目標	()	()	(4%)	(4%)	()
		実績			6%	6%	
進捗状況説明	対象となった児童生徒の学校又は教室に復帰した割合を算出し、過去3年間の割合の平均値を上回る4%以上を目標とした。実績では6%となり、目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	不登校や問題行動等を課題を抱える児童生徒や保護者を対象にカウンセリングによる支援を行い、不登校の改善を図る。	児童生徒の不登校や悩みや不安を気軽に相談できる話し相手として、また保護者の相談相手として相談員を配置し、児童生徒及び保護者の悩みの根元を相互理解し、解決に向けて、寄り添い話し合い安心して登校出来るよう学校とのパイプ役とする。
今後の取り組み方針		
今帰仁村教育委員会にて配置している教育相談員2名の勤務体制を、週3日の午前中勤務から、週5日(1日7時間勤務)に増やし、多くの児童・生徒、保護者と関わる機会を増やす。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○相談員へ委嘱しているため、妥当であったと考えている。 ○不用額はなしであり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①		環境保全美化推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
	担当部署名	経済課、建設課、住民課、社会教育課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の強化
事業内容		<p>・本村の観光拠点である今帰仁城跡や観光地及び観光ルートの美化作業を実施し、観光客の受入体制を整える。 また、観光地として魅力的な景観形成を図るため、観光地及び観光ルートの美化を行う。</p>					Ⅲ-1-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	23,747	30,050	34,762	32,409	41,515
	(b) 予算現額	24,830	32,264	35,762	31,560	36,614	
	(c) 増減額(b-a)	1,083	2,214	1,000	▲ 849	▲ 4,901	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	24,830	32,264	35,762	31,560	36,614	
	B. 執行済額	23,615	32,264	26,577	30,311	36,050	
	うち交付金充当額	18,892	25,811	21,261	24,248	28,840	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	95.1%	100.0%	74.3%	96.0%	98.5%	
予算の状況の説明		<p>・悪天候により美化作業が行えなかった日が多々あり、予算の減額を行った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、軽トラック(リース)の納期が遅れたため、当初より減額を行った。</p>					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	今帰仁城跡及び観光地の美化及び観光ルートの美化を行う。		目標 (観光地の美化作業の実施)	(観光地の美化作業の実施)	観光地及び観光ルートの美化作業の実施	観光地及び観光ルートの美化作業の実施	
			実績 観光地の美化作業の実施	観光地の美化作業の実施	観光地及び観光ルートの美化作業の実施	観光地の美化作業の実施	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明		<p>・今帰仁城跡、古宇利島を中心とした村内観光地や文化財のある観光ルートの美化作業を実施し、目標を達成した。 ・観光ルートのハブ等駆除対策、不法投棄等パトロール及び投棄物回収・処理等を実施した。 ・今帰仁城跡、村内文化財及び観光ルート周辺の危険木の伐採を実施し、台風前後に撤去することで被害を少なくできた。 ・世界遺産今帰仁城跡、古宇利島を中心とした観光地及び観光ルートの美化作業を実地することにより、観光客に今帰仁村の魅力をも十分に満喫してもらうことができた。</p>					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	【成果目標】 今帰仁城跡及び観光地等の美化を行い、観光地として魅力的な景観が確保されているか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	84%	85.3%	84.7%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明		<p>・観光客が村内の観光地を散策している状況のなかで、観光客が訪れる村内の観光地及び観光ルートの美化作業を実施することができた。 ・観光客等に対するアンケート調査の結果、「観光地として魅力的な景観が確保されている」との回答が84.7%となり、目標を達成した。</p>					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・近年観光客が訪れる場所の増加もあり、美化作業を実施する場所が増加している。 ・悪天候が続くと美化作業が遅れ、当初計画していた日程等にズレが生じる。 ・観光客が訪れる場所の増加によって、ごみのポイ捨て(量・場所ともに)が増えており、除草も含めて全体的に作業箇所が増えている。 ・アンケート調査においては、観光地にアンケート用紙を設置していたが、回答が得られず、観光客に直接協力を依頼したが、まだまだ回答数が少ない状況である。 ・宿泊施設等にもアンケート設置をしたが、回答を得る事が難しい。 ・今年度より、今帰仁城跡のネット上で回答出来るお客様アンケートに環境美化の項目を追加し、ネット上で回答出来る体制を取った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光ルートを正確に把握し、不法投棄等パトロールや投棄物回収・処理をより強化していく。 ・アンケート調査においては、観光地に多くの観光客が訪れる時期に直接アンケート回答の協力依頼をする。アンケート用紙の設置についても、設置場所の変更等の検討が必要である。 ・地域住民からの声を聴き、美化作業場所の参考にする。 ・ネット上でのアンケート回答は頂けるようになったが、紙媒体では回答数が少ない。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・美化作業箇所の増加に対応し、観光地として魅力的な景観を保つため、必要な作業員数の確保、効率的な作業日程を構築し計画的な実施を図る。 ・地域住民や区長等からの情報収集によって、正確な観光ルートの把握及び作業箇所の選定を行い美化作業を効率的、継続的に実施する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
36,050	36,050	28,840	7,210	0

今帰仁村 36,050千円	報酬 20,223千円	会計年度任用職員 16人	(環境保全美化推進に係る報酬)
	職員手当 3,752千円	会計年度任用職員 15人(1人対象外)	(環境保全美化推進に係る期末手当)
	共済費 3,685千円	会計年度任用職員 17人	(環境保全美化推進に係る共済費)
	旅費 501千円	会計年度任用職員通勤手当 16人	(環境保全美化推進に係る通勤手当)
	需用費 3,857千円	燃料費 1,495千円 消耗品費 2,362千円	(環境保全美化推進に係る需用費)
	使用料 2,177千円	重機使用料 395千円 車両リース 1,782千円	(環境保全美化推進に係る使用料)
	役務費 21千円	自賠責保険手数料	(環境保全美化推進に係る役務費)
	委託料 1,416千円	危険木の伐倒	(環境保全美化推進に係る委託料)
	原材料費 90千円	道路補修材料等	(環境保全美化推進に係る原材料費)
	備品購入費 328千円	刈払い機等	(環境保全美化推進に係る備品購入費)

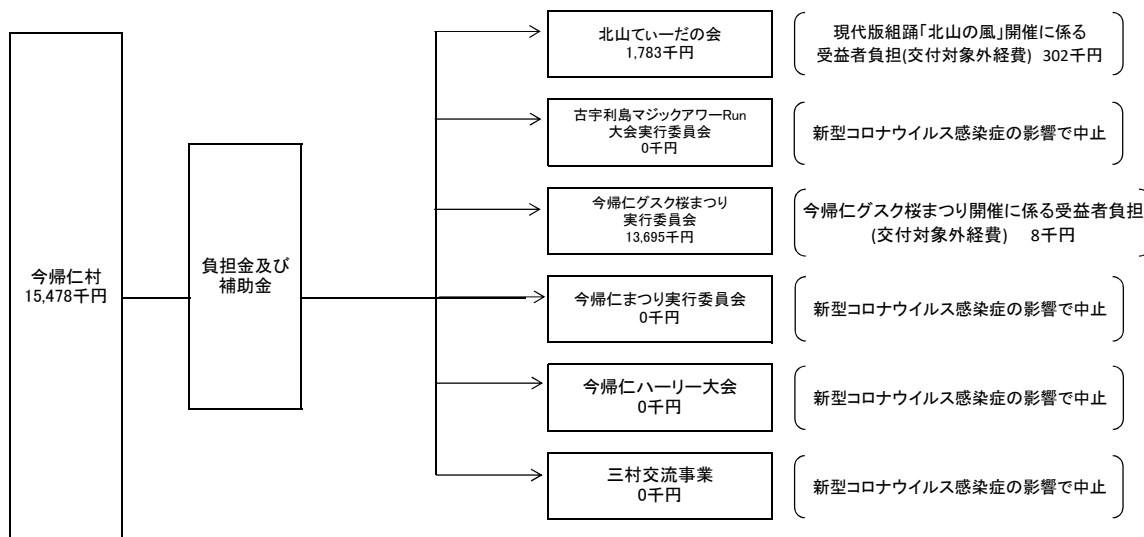
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○見積価格などを踏まえ支出先を選定しているため妥当である
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業に必要なものに限定しているので適正な規模である
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-② 観光力基盤強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア			
	担当部署名	総務課、経済課、建設課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	国際的な沖縄ブランドの確立	
事業内容		今帰仁村の観光地としての知名度アップを図るため、「現代版組踊 北山の風」、今帰仁まつり、ハーリー、桜まつり、いいなまつり等の実施に対して補助する。また、今帰仁村総合運動公園を高校駅伝やハーフマラソンの拠点とすることで、民泊事業の導入拡大を図り、村観光協会と連携し、観光関連産業の活性化につなげる。				Ⅲ-1-(1)	
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,705	17,800	17,800	22,962	20,800
		(b) 予算現額	13,705	17,800	16,223	2,000	19,000
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 1,577	▲ 20,962	▲ 1,800
		(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)		13,705	17,800	16,223	2,000	19,000
	B. 執行済額		13,705	17,788	16,167	2,000	15,478
	うち交付金充当額		10,964	17,788	12,933	1,600	12,382
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.9%	99.7%	100.0%	81.5%
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・【現代版組踊 北山の風】は、2回公演を予定していたが、2月公演準備中に劇団員数名に、新型コロナウイルス感染症及び濃厚接触者が出た為、2月公演が中止となり事業費減となった。 ・【今帰仁グスク桜まつり】新型コロナウイルス感染症の影響により夜のライトアップの開催方法をオンライン配信に切り替えたが概ね活動目標を達成出来た。 ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、今帰仁まつり、古宇利島ハーフマラソン、今帰仁ハーリー大会、運天港いちやり場まつりについては中止となり、事業執行ができなかった。 					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	現代版組踊「北山の風」(11月・2月)	目標	(8月・11月・2月)	(11月・2月)	(11月・2月)	(11月・2月)	
		実績	10月(2回)・2月(2回)	10月・2月	3月	12月	
	古宇利島ハーフマラソン(中止)	目標	(4月)	(4月)	(4月)	(4月)	
		実績	4月	開催中止	開催中止	開催中止	
	今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり開催(中止)	目標	(1月)	(1月)	(2月)	(1月~2月)	
		実績	1月~2月	2月	開催中止	1月~2月	
	今帰仁まつり(中止)	目標	(10月)	(10月)	(8月)	(8月)	
		実績	10月	8月	開催中止	開催中止	
今帰仁ハーリー大会(中止)	目標	(8月)	(8月)	(8月)	(8月)		
	実績	台風中止	日程不調中止	開催中止	開催中止		
三村交流事業(中止)	目標	(11月)	(11月)	(11月)	(11月)		
	実績	11月	11月	開催中止	開催中止		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・【現代版組踊「北山の風」】11月・2月に定期公演の開催を予定していたが新型コロナウイルス感染症の影響により12月の公演のみとなり活動目標を達成する事ができなかったが、公演したことによる村外の来客者等に幅広く今帰仁村をPRすることができた。 ・【今帰仁グスク桜まつり】新型コロナウイルス感染症の影響により夜のライトアップの開催方法をオンライン配信に切り替えたことにより、有名な著名人に取上げられ今までにない客層にPRする事ができた。 ・【古宇利ハーフマラソン、今帰仁まつり、今帰仁ハーリー大会、三村交流事業】新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、感染拡大防止の観点から開催を中止としたため、活動目標を達成できなかった。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	現代版組踊「北山の風」 来場者数:1,135人	目標	()	(1,300人)	(1,200人)	(1,135人)	()
		実績		1,076人		392人	
	古宇利島ハーフマラソン(中止)	目標	()	(3,600人)	(3,600人)	(3,620人)	()
		実績		3,651人	開催中止	開催中止	
	今帰仁城跡ライトアップ・桜まつり(中止)	目標	()	(48,500人)	(48,000人)	(30,000人)	()
		実績		33,888人	開催中止	9,187人	
	今帰仁まつり(中止)	目標	()	(10,200人)	(10,400人)	(10,400人)	()
		実績		10,200人	開催中止	開催中止	
	今帰仁ハーリー大会(中止)	目標	()	(780人)	(780人)	(780人)	()
実績			日程不調中止	開催中止	開催中止		
三村交流事業(中止)	目標	()	(1,300人)	(1,300人)	(1,300人)	()	
	実績		開催中止	開催中止	開催中止		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・【現代版組踊「北山の風」】2月公演が中止となった為、目標人数に達しなかった。 ・【今帰仁グスク桜まつり】集客力がある城跡のライトアップをオンライン配信に切り替えたため、目標数に達しなかった。 ・【古宇利ハーフマラソン、今帰仁まつり、今帰仁ハーリー大会、三村交流事業】新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、感染拡大防止の観点から開催を中止としたため、成果目標を測れなかった。 						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・【現代版組踊「北山の風」】県内各種イベントへの出演を通しPR活動をしてきましたが目標人数に達しなかった。また、当該団体は村内・村外の学生で構成されており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止しながらの活動するハードルが高い。 ・【今帰仁グスク桜まつり】これまで行政が主体の実行委員会事務局で当該イベントを運用していたが、イベント内容等が定型化するなどの課題があったため、今年度から観光協会に主の事務局を置くことにより、斬新なアイデアが出るなど一定の成果があった。しかし、今回急遽ライトアップをオンライン配信に切り替えたこともあり、目標数に達しなかった。 ・【古宇利ハーフマラソン、今帰仁まつり、今帰仁ハーリー大会、三村交流事業】新型コロナウイルス感染症の影響で実施出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【現代版組踊「北山の風」】2月公演については、受験生や卒業、進学等の兼ね合いで延期する事が難しいため、公演時期の繰り上げを検討したい。 ・【今帰仁グスク桜まつり】ライトアップをオンライン配信に切り替えた際のPR活動や配信コンテンツを充実させ視聴者数増加を促す事が必要である。 ・【古宇利ハーフマラソン、今帰仁まつり、今帰仁ハーリー大会、三村交流事業】新型コロナウイルス等感染症の影響を最小限に抑える対策を講じて実施できるように検討が必要。
	今後の取り組み方針	
	<p>今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、計画していた6事業の内2事業の開催にとどまった。しかし、今年度は今帰仁グスク桜まつりで初めて城壁や桜のライトアップをオンライン開催し、新たな生活様式に合致する形でのまつりを開催する事ができ、次年度においても基本的な感染対策のみでなくオンライン等を含めて、これまでの課題である来場時間帯の分散化を図るなど新たな形での実施方法についてもさらに検討していきたい。</p>	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,788	15,478	12,382	3,096	310



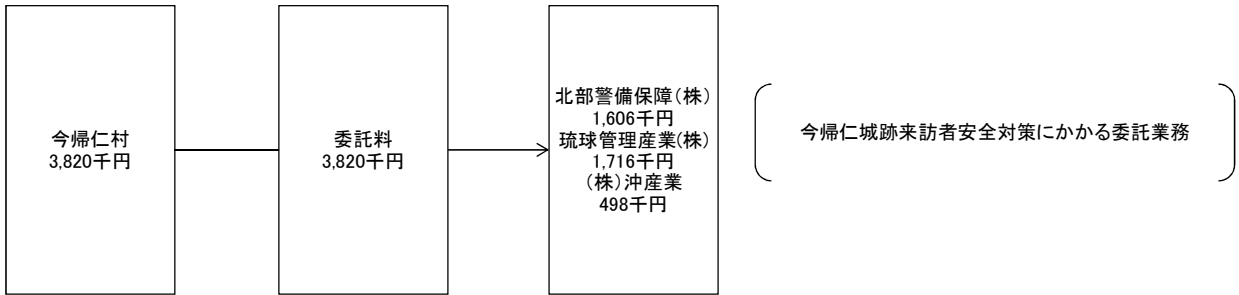
資金の流し、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流し、費目・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○イベントを開催する実行委員会に限定し、選定を行っており妥当な選定だと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、各実行委員会でのイベントに見合った適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金については、各実行委員会において、事業費の一部を負担しており適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○各イベントの事業目的達成の観点から、費用額及び使途については必要なものであり、支出は適正であった。

市町村名	今帰仁村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	観光地安全強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受け入れ態勢の整備		
事業内容	世界遺産今帰仁城跡を訪れる観光客の安全確保を図るため、繁忙期及びイベント時の車両誘導及び駐車場、横断歩道等に交通整理員を配置。 今帰仁城跡を訪れる観光客の安全確保のため、車両等への注意喚起及びスムーズな誘導が実施できるよう表示サイン等を設置し、受入環境を整える。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(a)当初予算額	5,742	5,665	4,189	4,189	4,169
		(b)予算現額	5,742	6,612	3,489	4,169	4,667
		(c)増減額(b-a)	0	947	▲700	▲20	498
		(d)繰越額					
	A. 計(b+d)		5,742	6,612	3,489	4,169	4,667
	B. 執行済額		1,383	6,612	3,489	4,169	3,820
	うち交付金充当額		1,106	5,290	2,791	3,335	3,056
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		24.1%	100.0%	100.0%	100.0%	81.9%
予算の状況の説明		新型コロナウイルスの影響で来場者数は減少傾向にあるが、車両の往来は例年並みと予測し業務を委託。サインの設置委託業については見積価格等を踏まえ業者を選定でした。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	繁忙期(12月～2月)に今帰仁城跡の駐車場及び横断歩道に交通整理員を配置する。	目標	交通整理員の配置 (12月～3月)	交通整理員の配置 (12月～2月)	交通整理員の配置 (12月～2月)	交通整理員の配置 (12月～2月)	
		実績	交通整理員の配置 (12月～2月)	交通整理員の配置 (12月～2月)	交通整理員の配置 (12月～2月)	交通整理員の配置 (12月～2月)	
	・車両への注意喚起を促すためのサイン等の作成・配置する。	目標	()	()	()	(作成・設置)	
		実績				作成・設置	
達成状況説明	新型コロナウイルスの影響でイベントはほとんど中止となったが、屋外での城跡観覧や桜鑑賞を目的とする県内容が増加。サインを設置することでスムーズな誘導が実施できた。また、繁忙期である12月～2月に今帰仁城跡の駐車場及び横断歩道に交通整理員を配置した。概ね目標を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	交通整理員が配置された箇所における事故件数0件	目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
		実績		0件	0件	0件	
	・注意喚起サイン等の作成、配置完了	目標	()	()	()	(作成・設置)	()
		実績				作成・設置	
進捗状況説明	世界遺産である今帰仁城跡を訪れる観光客の安全確保を図るため、交通整理員を配置することにより、配置箇所における事故件数は0件となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>交通整理員の人員確保。 新型コロナウイルスの影響で、来場者の属性に変化があった(インバウンドから国内・県内容が主となった)。これにより大型バスを利用したツアーが減り、レンタカーや自家用車での来場が増加している。</p>	<p>交通整理員の確保に向けて、効率的な配置箇所及び配置人数を精査・検討する必要がある。 レンタカーや自家用車での来場が増加したことにより、よりスムーズな交通誘導が必要。</p>
今後の取り組み方針		
<p>交通整理員の効率的な配置場所及び配置人数を精査・検証し、必要な交通整理員を確保する。 高いスキルを持った交通整理員を確保するため、早期に委託契約を締結する。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,820	3,820	3,056	764	



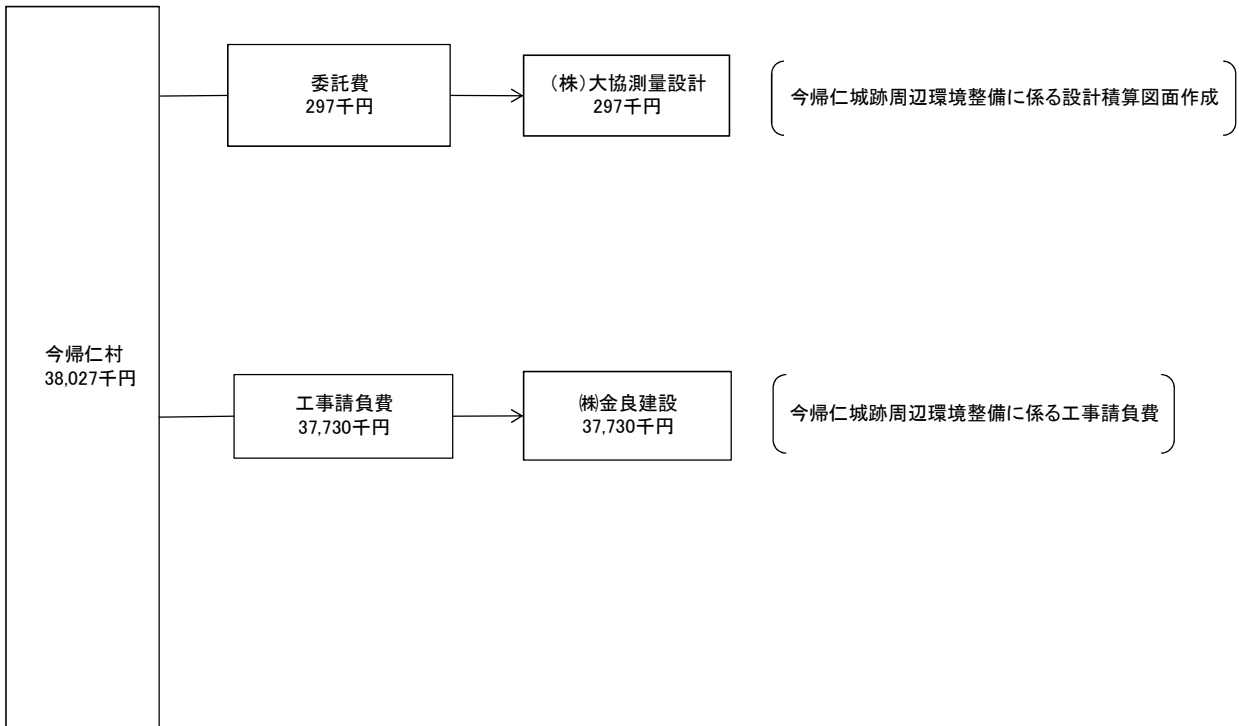
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、北部地区で1ヵ月以上の業務が可能な業者が1社であったため、当該業者と随意契約を行った。 ○予算規模については、過去事例と比較しており、適正な規模である。 ○費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即しているものであった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-④	今帰仁城跡周辺環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	今泊集落内を流れる普通河川(今泊港川)を整備し、河川敷きなどの空間の有効活用、治水の安全度向上を図ることで、安全・安心な河川を再生し観光基盤を強化する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a)当初予算額	55,887	35,940	130,542	100,000	53,000
	(b)予算現額	51,516	29,916	130,168	79,111	38,027	
	(c)増減額(b-a)	▲4,371	▲6,024	▲374	▲20,889	▲14,973	
	(d)繰越額			58,968			
	A.計(b+d)	51,516	29,916	189,136	79,111	38,027	
	B.執行済額	51,480	29,916	130,168	79,111	38,027	
	うち交付金充当額	41,184	23,933	101,608	63,288	30,421	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	99.9%	100.0%	68.8%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		・当初予定していた仮設費の設計精査を行った結果、仮設の施工方法を変更したことにより大幅な減となった。委託費・工事費において年度内執行済みである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	今泊集落内を流れる普通河川(今泊港川)の整備を行う。		目標 (整備の実施)	()	()	()	
			実績 整備の実施				
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明	・令和3年度は、河川延長1,120mのうち河川整備工事(右岸L=45m)を実施。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(4年度)
	全体計画における4.0%整備(累積整備率64.0%)		目標 ()	()	()	(4.0% (64.0%))	()
			実績			4.0% (64.0%)	
	【R4成果目標】魅力的な景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客等に対するアンケートにより本事業を検証する。		目標 ()	()	()	()	(80%)
		実績					
進捗状況説明	・河川延長1,120mのうちR3年度分河川整備工事(右岸L=45m)を実施し、全体計画における整備率4.0%(45m/1,120m)目標を達成することができた。累計延長717mとなり64.0%実施済みとなった。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・本工事は、県道と村道の交差点付近となっていることから、一般交通車両の安全面を十分配慮して、施工を行う必要がある。</p>	<p>・交差点付近での施工の際は、交通誘導員もしくは、簡易信号機を設置して、安全な交通を確保する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・今後は、令和4年度10工区間(右岸側L=70.0m)を予定していることから、6月に設計積算、7月現場説明～入札を実施し、8月初旬の工事契約を目指す。また、関係機関との調整を早期に行い、工期を年内完成に設定することで、早期着工、完成を目指す。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
38,027	38,027	30,421	7,606	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事業者に関しては、指名競争入札方式で選定し、適切に執行した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、予算内で工事発注することができたことから、適正規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名		今帰仁村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤	今帰仁城跡ガイド強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	社会教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	世界に通用する観光人材の育成 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	<p>・今帰仁村には世界遺産である今帰仁城跡が所在し、「今帰仁グスクを学ぶ会」によって来場者に無料ガイドが行われている。今帰仁城跡の魅力を更に観光客へアピールしていくため、研修等により「学ぶ会」の資質向上を図る。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	3,077	3,700	3,700	4,000	3,700
	(b) 予算現額	3,077	3,700	3,700	3,520	3,700	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	▲ 480	0	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	3,077	3,700	3,700	3,520	3,700	
	B. 執行済額	3,077	3,700	3,700	3,520	3,626	
	うち交付金充当額	2,461	2,960	2,960	2,816	2,901	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.0%	
予算の状況の説明	<p>補正無く予算通り執行予定であったが、1月に発せられた蔓延防止等重点措置によりガイドの団体予約が多数キャンセルされたため執行率98%となった。</p>						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	目標	世界遺産・国指定史跡今帰仁城跡の無料案内ガイドの実施、及びガイドの資質向上を図るための講演会・研修会を実施	ガイドの実施、講演会・研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会・研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会・研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会・研修会の実施	
	実績		ガイドの実施、講演会・研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための講演会・研修会の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための研修会等の実施	無料案内ガイドの実施、ガイドの質向上を図るための研修会等の実施	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	<p>・ガイド実施は11,500名を目標としていたが、新型コロナウイルスの緊急事態宣言による臨時閉城及び、来場者減少・団体予約キャンセルの影響があり、5,407名となった。 ・「ガイド養成講座」開催(11/19～12/10で4回開催延べ71名参加)を通して、ガイドの資質向上が図られている。なお、ガイド養成講座により学ぶ会会員は2名増となったがまだガイド活動には至っていない。他にガイド長期経験者が主催する「自主ガイド教育部会」において随時ガイドの教育を図っている。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	ガイドによる案内者数	目標	()	(12,400名)	(3,126名)	(11,500名)	()
		実績			11,362名	5,070名	5,407名
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	<p>・来訪者に分かりやすく今帰仁城跡を案内することで、今帰仁城跡のPRにつながっている。令和3年度は新型コロナウイルスの影響が大きく今帰仁城跡の入園者数は68,572人と、コロナ前直近の令和元年度実績の239,250人と比べて約17万人の減となった。R3年度ガイド目標数値11,500名であったが、実績値は5,407名。 R3年度は屋外で実施する研修会等によりガイド経験を重ね、ガイドの資質向上を図った。</p>					

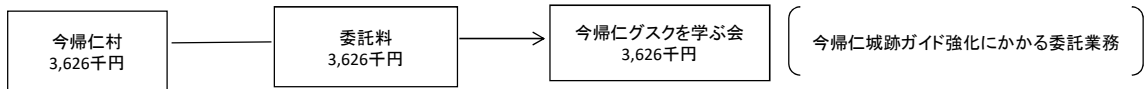
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・R3年度は新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令で臨時閉園となりガイド活動を出来ない期間があった。また、新型コロナウイルス感染症の影響で城跡への入園者数が減少している。 ・ガイド養成講座の実施等により新人ガイドは増えているが、ガイド高齢化(実際に稼働しているガイド32名のうち、60～69歳が14名、70歳以上が16名で30名(94%)が60歳以上となっている。)の問題は続いており、今後も人材発掘及び育成を推進していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度今帰仁城跡の入園者数は前年度比で17万人減少した。R4年度に入園者増を図るため村経済課と連携し、観光客誘致活動を進める。また、イヤホンガイドシステムのアピールを行い来場者に対して安全にガイドを受けられることを伝え、案内件数増を図る。 ・村教育委員会社会教育課の主催する「ガイド養成講座」を軸にし、今帰仁城跡を訪れた本村の歴史に興味を持たれた方に「今帰仁グスクを学ぶ会」へ勧誘、ガイドメンバーの増員を図る。

今後の取り組み方針

・引き続き、講演会・研修会・見学会・自主ガイド教育部会等にて、ガイド個々の案内に関する知識や経験を増やし質の向上を図る。また、ガイド養成講座を実施することで、メンバーの増員、案内実績の増を図る。
 ・感染症が起こった際の活動として、Webを活用した勉強会やガイド間における情報交換、共有を図れる方法を構築していく。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
3,626	3,626	2,901	725	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者である「今帰仁村グスクを学ぶ会」は、ガイド業務について約10年以上の実績があり、業務の計画や現場の現状に詳しく、この種の業務に精通した人員を擁しており、妥当な委託先である。 ○予算規模については、ほぼ観光客のニーズに沿ったガイドの人数配置となっている為適正規模である。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

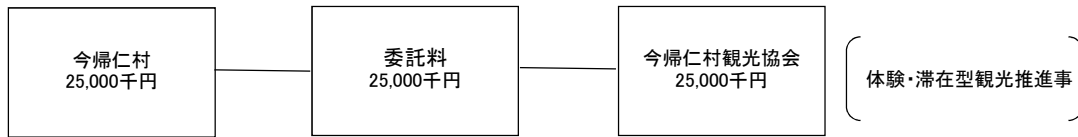
市町村名		今帰仁村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑦	今帰仁村着地型観光推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
	担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	令和元～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	本村の着地型観光を促進するため、民泊事業者等の受け入れ体制強化及び誘致活動を行い、新規教育旅行民泊客の増加及びリピート校の確保を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額			0	11,727	20,990
	(b) 予算現額			7,995	14,247	20,990	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	7,995	2,520	0	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	0	0	7,995	14,247	20,990	
	B. 執行済額			7,995	14,247	20,290	
	うち交付金充当額			6,396	11,397	16,232	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)			100.0%	100.0%	96.7%	
予算の状況の説明	年度末近くに委託料減額の変更契約を行ったため、予算の減額が行えなかった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	新しい生活様式に沿った民泊受入の実施(民泊家庭を対象とした、開発した教育プログラム等の講習会)	目標	()	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績		実施	実施	実施	
	専属職員の配置	目標	()	(3名)	(3名)	(3名)	
		実績		3名	5名	3名	
	県内外での誘致活動	目標	()	(実施)	(実施)	(実施)	
実績			実施	実施	実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から引き続き新型コロナウイルスの影響もあり、感染症対策講習会などを行った。 ・専属職員を当初の目標通り配置することができた。 ・県外での誘致活動は営業のみではなく、次年度来村予定の学校にて事前学習授業を行ったりオンラインを活用し事前学習を行った。また、パンフレットや手引き等を、県外の旅行社(447社)や学校(72校)へ送付を行った。コロナ禍で県外からの誘客が見込めないため日帰り体験プランを考案し県内の旅行社(33社)や学校(410校)へも送付を行った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	民泊次年度予約数	目標	()	(12,000人)	(16,000人)	(16,000人)	()
		実績		15,555人	15,739人	14,201人	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	教育旅行民泊客(学校)は予約を1年前に確定するため、令和3年度に予約される令和4年度の民泊客の人数を成果目標としている。令和3年度の目標数値は新型コロナ前に設定された数値であるため高い目標数値となっており、予約延べ人数は14,201人で88.7%の達成率となり前年を下回った。						

市町村名	今帰仁村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑧	今帰仁村体験・滞在型観光推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	村内宿泊滞在者を増やすため、宿泊を伴う地域資源を活かした体験プログラムを創出し、村内宿泊者の増加を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
						25,000	
						25,000	
		0	0	0	0	0	
		0	0	0	0	25,000	
	B. 執行済額						25,000
	うち交付金充当額						20,000
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)						100.0%
	予算の状況の説明		計画に沿って事業を実施できたので適正であった。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	宿泊及び体験プログラムの創出	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
	情報発信	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
	宿泊観光者把握のための調査	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
	達成状況説明	・本村の地域資源を活かした体験プログラム及び宿泊プランを創出し、モニターツアーを行った。 ・2件のプレスツアーを行い、4社のWEBメディアにて記事掲載を行った。また、34社のWEBメディアにて記事転載も行われた。 ・今回初めて宿泊観光者把握のための調査を行った。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度
宿泊体験プログラムの創出		目標	()	()	()	(15件)	()
		実績				15件	
【参考指標】		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明		15件の宿泊体験プログラムを創出し、13件のモニターツアー及び2件のプレスツアーを行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>宿泊観光者把握のための調査が、直近の年度だと新型コロナウイルス感染症の影響が大きいため、把握が行えていない。(調査はコロナ禍前の2019年度を対象とした)</p>	<p>村の観光に対するコンセプトを設定し、村の魅力や特徴を伝わりやすくしていく。</p>
今後の取り組み方針		
<p>宿泊観光者把握のための調査結果によると、99.5%が日帰り客であり宿泊客数は0.5%であったことを受け、創出した15件の宿泊を伴う体験プログラムのブラッシュアップを行い、宿泊客の増加を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
25,000	25,000	20,000	5,000	0



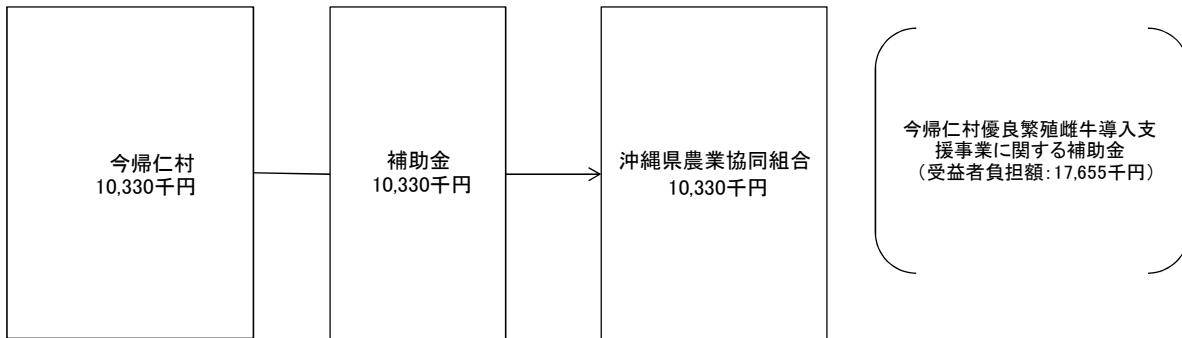
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託事業者は、本村の観光事業者とのネットワークのある事業所であり十分な実績があることから妥当である。</p> <p>・予算規模については委託業者から見積書を徴し、事業目的を達成するために必要な委託費であり、適正であった。</p> <p>・用途について、精算時に事業目的達成の観点から内容を確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		今帰仁村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	今帰仁村優良繁殖雌牛導入支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部署名	経済課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備		
事業内容	安定した素牛生産地の確立に向け、素牛のブランド化を推進するため、今帰仁村和牛改良組合による沖縄県農業協同組合からの優良繁殖雌牛(貸付牛)の導入に対して支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		(b)予算現額	7,500	10,500	10,500	10,500	10,500
		(c)増減額(b-a)	7,500	9,989	10,073	10,087	10,500
		(d)繰越額	0	▲511	▲427	▲413	0
		A.計(b+d)	7,500	9,989	10,073	10,087	10,500
	B.執行済額		7,500	9,989	10,073	10,087	10,330
	うち交付金充当額		6,000	7,991	8,058	8,069	8,264
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.4%
	予算の状況の説明		当初計画(21頭)よりも1頭増の計22頭の優良繁殖雌牛を導入した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	今帰仁村和牛改良組合員が沖縄県農業協同組合の貸付牛等の繁殖牛を導入する際に1頭あたり50万円を上限に支援を行う	目標	1頭あたり50万円を上限に支援	1頭あたり50万円を上限に支援	1頭あたり50万円を上限に支援	1頭あたり50万円を上限に支援	
		実績	1頭あたり50万円を上限に支援の実施(平均1頭47万円)	1頭あたり50万円を上限に支援の実施(平均1頭48万円)	1頭あたり50万円を上限に支援の実施(平均1頭46万円)	1頭あたり50万円を上限に支援の実施(平均1頭47万円)	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	当初計画(21頭)よりも1頭増の計22頭の優良繁殖雌牛を導入し、1頭あたり50万円を上限に支援を行った。(平均1頭47万円)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合104%以上	目標	()	(113%)	(112%)	(104%)	()
		実績		104%	105%	103%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	<p>成果目標達成とはならなかったが、これまでの取り組みの結果、村内の母牛年齢平均が令和2年度時点(6.08才)、令和3年度時点(6.04才)となっており、老廃牛更新に繋がったと考える。導入牛からの子牛と導入牛以外の子牛との価格差は103%と前年度より下落してはいるが、村内におけるセリ価格が前年度より上昇してきており、村内の仔牛の質が向上したと考えられる。</p> <p>【R3年度セリ結果(R3.4月～R4.3月)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入牛以外の子牛 平均 701,603円 ・導入牛(H26～R1)の子牛 平均 719,282円 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 当初予定していた頭数(21頭)よりも1頭増となる計22頭の優良雌牛を導入したが、執行残(170千円)が発生してしまった。 牛のセリ価格が前年度比で上昇しており、村内農家に対し平等に導入支援が出来るように事業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度においては、セリ価格の状況を注視しつつ、今後においても予算範囲内で最大頭数の導入を図る。 優良雌牛を導入し、更なる牛の品質の向上及び老廃牛更新の為に、引き続き未導入農家やこれまでに導入頭数の少ない農家を優先して実施する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 今後の母牛の品質向上を図るため、導入した牛から産まれた雌子牛のうち、発育良好な雌牛を保留する。 本事業導入農家を選定する場合は、全体の老廃牛更新を促すためにも未導入農家や導入頭数の少ない農家から優先事項として行う。 多くの農家へ導入支援ができるよう未実施農家への情報提供を積極的に行う。 更なる母牛の更新、母牛得点の向上を図りつつ、将来にわたって継続的かつ安定的な生産地の確立に繋げるため事業導入牛の優良系統を引き継ぐ産子の保留を推進していく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
27,985	10,330	8,264	2,066	17,655



資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助先の沖縄県農業協同組合は実績もあり村和牛改良組合とも連携を図れることから妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、計画頭数を導入することが出来たため適正規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担は、17,655千円で総額(27,985千円)の63%となっており負担関係は妥当だと考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。